

まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。



中学生たちが県知事と座談会

県知事が福津市を来訪



▲知事と意見を交換する中学生たち

県知事が県内各地に出向き、県民と直接触れ合う県事業「知事のふるさと訪問」。この事業で小川知事が4月22日、福津市を訪ねてきました。この日を待ちに待ったと楽しみにし、最も笑顔が輝いていたのは中学生たち。福岡中学校、福岡東中学校、津屋崎中学校の生徒会の皆さんが知事と座談会をしました。生徒たちは地域の人々と取り組んでいる課外活動などを知事に紹介。たくさん話をしていました。参加者の一人、津屋崎中学校の吉村純一さんは「こんな機会はまずないのでうれしい。でも、すごく緊張しました」と感想を語っていました。

小型ポンプの部は第11分団が優勝

第6回福津市消防団消防操法大会



▲ホースを構える11分団の石津さん(右)と染矢さん(左)

消防操法大会が、4月24日に福岡東中学校で開催されました。小型ポンプの部と、自動車ポンプの部でそれぞれ競われました。小型ポンプの部優勝の第11分団で指揮を務めた石津健治さんは「チームワークで優勝できました。協力していただいた皆さん、ありがとうございます」と語っていました。

小型ポンプの部で選出された第11・5・7・10分団は7月開催の宗像地区大会に進みます。

まちに熱気があふれました

津屋崎千軒よっちゃん祭



▲たくさんの観光客が行き交う豊村酒造前

4月23日、24日に津屋崎千軒よっちゃん祭が開催されました。「津屋崎を遊ぶ」をテーマに開催された今回は、出展者がお客さんを楽しませようと工夫した手作りの出店などが並びました。この日にしか開かない名物店もあり、お客さんが列を作って並ぶ姿も見られました。実行委員の一人、古橋範朗さんは「回数を重ねてきて、だんだんと根付いてきていますね」と、にぎわうまちを見ながら笑顔で語っていました。

庁舎統合後を見据えて

津屋崎行政センターがオープン



▲オープニングのテープカット

庁舎統合に先立ち、津屋崎行政センターが5月6日、オープンしました。場所は市文化会館の隣です。オープニングセレモニーには市民や関係者、約50人が集まりました。小山市長が「本日のセンターのオープニングが、今後予定される津屋崎庁舎の再生整備も併せて津屋崎地区の中心拠点となる第一歩です」と挨拶がありました。

文部科学副大臣と文化庁長官が視察

注目される新原・奴山古墳群



▲古墳群を望みつつ説明を受ける副大臣一行

世界遺産登録を所管する文部科学省の義家副大臣と宮田文化庁長官が5月6日と7日、来年夏の世界遺産登録を目指している「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を視察しました。

新原・奴山古墳群では福岡県の担当者が、地理的条件などを説明したところ、副大臣は「水田に囲まれ、良い景観ですね」と語っていました。

36年間、本当にありがとうございます

地域婦人会石けん部が惜しまれながら廃部



▲長年にわたる貢献に市から感謝状が渡されました

生活雑排水等による河川の汚れが深刻だった昭和55年。地域婦人会は、何とか改善できないものかと手作り石けん工房を開設。食廃油を回収し、リサイクル石けん作りを始めました。石けん部長の吉原久美子さんは「長年、皆さんに支援いただいたからこそ続けてこれました。6月をもって廃部です。ありがとうございます」と語っていました。